

③ 人蔘サポニンの抗血栓作用について



平井愛山先生

千葉大学医学部 第二内科

平井愛山/山本恭平/田村泰/吉田尚

我々は既に *in vitro* の系において高麗人蔘（紅蔘）の主成分である人蔘サポニンのうち Ginsenoside-Rg₁ (G-Rg₁) に、強力な血小板凝集抑制作用があり、その機序としてトロンボキサンA₂ (TXA₂) の作用を抑制する可能性を明らかにしている。今回我々は人蔘サポニン特に G-Rg₁ の抗血栓作用を解析する目的で高純度に精製した G-Rg₁ (98% 純度) を健常男子 6 名に 50mg、早朝空腹時 1 回投与し、血小板凝集能、血液レオロジーに及ぼす影響をみたところ、アラキドン酸 (AA)、コラーゲン及び

TXA₂ の安定な誘導体である STA₂ 刺激による血小板凝集の著明な低下がみとめられ G-Rg₁ が *in vivo* の系でも抗 TXA₂ 作用を有することが示唆された。なお血液レオロジーには変化が認められなかった。そこで G-Rg₁ の抗 TXA₂ 作用を明らかにする目的で、まず [³H] SQ-29548 をリガンドとして TXA₂ の receptor assay を行ったが G-Rg₁ は高濃度に於ても何らの影響も及ぼさず、G-Rg₁ の作用点とし TXA₂ の受容体以降のプロセスが考えられた。